

サテライト 01

## 第 23 回バルクセラミックス研究会

The 23<sup>th</sup> Workshop on Bulk Ceramics

開催日時 2018 年 3 月 15 日(木) 10:00~12:00

主催団体名: 日本セラミックス協会 先進バルク材料とそのシステムの高信頼性化研究会

概要 開催内容: バルクセラミックスの製造時および稼働時の信頼性についての現状の問題点と最近の進歩  
についての講演会

招待講演 10:00-10:30, 10:30-11:00

『インデンテーション法の新展開: 顕微インデンターの開発と実用化』(仮題)

宮島達也(産総研)

『超高温 MoSiBTiC 合金の金属/セラミックス複合化デザインと材料特性』(仮題)

吉見享祐(東北大学)

特別講演 11:10-11:55

『セラミックプロセスの観点でみたバルク/薄膜セラミックスの構造制御と機能発現』(仮題) 篠崎和夫(東工大)

参加対象者: ご興味のある方は、社会人、学生を問わず、どなたでも大歓迎です。

参加費: なし

予定参加者数: 40 名

申込方法: e-mail で [kyasuda@ceram.titech.ac.jp](mailto:kyasuda@ceram.titech.ac.jp) までお申し込み下さい。当日の飛び入り参加も可能ですが、配布資料の部数も限られていますので、事前にお申し込み頂くと助かります。お申し込みの際は、交流会参加の有無も合わせてお願いします。

交流会(懇親会)開催予定: 3 月 15 日(木)の夕方に開催する予定です。交流会は、実費負担となります。

### 連絡・問合せ先

担当者 安田公一(東京工業大学)

T E L 03-5734-2526 E-mail [kyasuda@ceram.titech.ac.jp](mailto:kyasuda@ceram.titech.ac.jp)

サテライト 02

## 第 5 回 MFD (マテリアル・ファブリケーション・デザイン) 研究会

The 5th Workshop on Material and Fabrication Designs Study Group

開催日時 2018 年 3 月 15 日(木) 9:00~12:00

主催団体名 日本セラミックス協会 MFD (マテリアル・ファブリケーション・デザイン) 研究会

協賛団体名 化学工学会反応工学部会ソノプロセス分科会

開催内容 『特殊・新奇な反応場, プロセッシングと材料開発のヒント』

プロセッシングはもの造りの本質であり、材料設計はプロセッシングの最適化によって初めて実現が可能になります。本研究会では、1D 原子から 3D バルクまで無機・有機・金属に跨るあらゆる材料において、様々な構造・組織・形態・造形・機能の構築のためのプロセッシングに立脚した、多種多様な新材料創製のための議論・討論を目的としています。今回、プラズマ・レーザー・ケミカルプロセス分野 3 件の招待講演を予定しております。奮ってご参加下さい。

『気液界面プラズマが拓く新材料・生命科学の世界』

金子 俊郎 (東北大学)

『NaNH<sub>2</sub>を用いた新規合成プロセスの開発』

三浦 章 (北海道大学)

『ナノ材料へのレーザー光照射による物質変換および微細パターン形成と IoT 関連デバイスへの応用』 渡辺 明 (東北大学)

参加対象者: ご興味のある方は、社会人、学生を問わず、どなたでも大歓迎です。

参加費: 無料

予定参加者数: 40 名

申込方法: 電子メールのよる事前申込(当日参加も可能)

交流会(懇親会)開催予定: 3 月 15 日(木)の夕方に開催予定(会費制・当日清算・数千円程度)

### 連絡・問合せ先

担当者 林 大和(東北大学 大学院工学研究科)

T E L 022-795-7226 E-mail [hayashi@aim.che.tohoku.ac.jp](mailto:hayashi@aim.che.tohoku.ac.jp)

サテライト 03

## 第4回構造科学と新物質探索研究会 機能性複合アニオン化合物と複合酸化物の構造に基づくデザイン

The 4th Workshop on the Structure Science and Novel Materials

Design of Mixed-Anion Compounds and Complex Oxides Based on Structure

開催日時 2018年3月15日(木) 9:00~12:00 (昼食会 12:00~12:40)

**主催** 構造科学と新物質探索研究会  
**協賛** 一般社団法人化学情報協会, 新学術領域研究「複合アニオン化合物の創製と新機能」  
**開催内容** 本研究会ではセラミック材料の原子レベルの構造・結晶構造および新物質探索に関する発表を行い、ディスカッションを行って次世代の研究の方向性を探る。基調講演と招待講演を中心にして、ディスカッションに重点を置く。本第4回研究会では、いかにして革新的な機能性複合アニオン材料および酸化物材料を設計するか、過去の研究事例に基づき特に結晶構造に注目して議論をすすめる。

**招待・基調講演者** 垣花 真人(東北大) 結晶サイト工学に基づく新規蛍光体のデザイン  
荻野 拓(産総研) 機能性層状複合アニオン化合物の開発  
上田 純平(京都大) 複合アニオン化合物における光機能性材料設計  
山本 隆文(京都大) 新規酸水素化物の合成とヒドリドが拓く物性  
藤井 孝太郎, 八島 正知(東工大) 機能性複合アニオン化合物と複合酸化物の構造に基づくデザイン

**参加対象者** どなたでもご参加いただけます。 **参加費** 無料

**予定参加者数** 10~40名

**交流会開催予定** 昼食会(お弁当の提供があります)

**申込方法** 聴講のみは事前申し込み不要ですが当日お名前と所属と連絡先を記してください。お弁当(無料)をご希望の方は予め下記連絡先までメールにてご連絡をお願いします。先着30名様のお受けとなります。

**その他・備考** <http://www.chemistry.titech.ac.jp/~yashima/seminar/index.php?p=004>

### 連絡・問合せ先

**担当者** 藤井 孝太郎 (東京工業大学 理学院 化学系)

**T E L** 03-5734-2331 **E - m a i l** kfujii@cms.titech.ac.jp



サテライト 04

## 焼結の科学と技術

Science and Technology of Sintering

開催日時 2018年3月15日(木) 9:00~12:00

**主催団体名** 焼結科学研究会

**開催内容** 9:30 開会 西村聡之(物質・材料研究機構)  
9:35-10:35 「高輝度白色光源用単結晶蛍光体」

島村 清史 (物質・材料研究機構)

10:40-11:40 「SPSによるYAG透明セラミックス蛍光体の作製」

後藤 孝 (東北大学)

11:45 閉会

**参加対象者** 焼結について興味のある方

**参加費** 無料

**予定参加者数** 40名程度

**参加方法** 下記担当者に電子メールで申し込みをお願いします。なお、当日参加も可能です。

**交流会(懇親会)開催予定** 予定しておりません

### 連絡・問合せ先

**担当者** 西村 聡之 (物質・材料研究機構)

**T E L** 029-860-4488 **E - m a i l** NISHIMURA.Toshiyuki@nims.go.jp

## 第1回 多視点でつくる機能材料研究会

The 1<sup>st</sup> Workshop on Functional Materials Emerging from Multiple Viewpoints

開催日時 2018年3月15日(木) 10:30~11:45

**主催団体名** 日本セラミックス協会 多視点でつくる機能材料研究会

**開催内容** 本研究会は異分野の若手研究者同士がダイレクトに結びつき、学際的な視点からユニークな材料設計の概念を創出することを狙う。今回は東北大学の藤原巧先生を講師にお招きし、新しい材料設計指針と材料創製のための議論の場を作る。研究内容に加えて研究者としてのキャリアパスについてもお話いただき、講演後には藤原先生を交えたフリーディスカッションを予定している。

### 【プログラム】

10:30~11:30 招待講演:「結晶とガラス、遍歴と局在のキャリアパス」藤原 巧先生(東北大)

11:30~11:45 フリーディスカッション

**参加対象者** 日本セラミックス協会会員ならびに非会員

**参加費** 無料

**予定参加者数** 25名程度

**参加方法** 参加希望者は:E-mailにより、交流会参加の有無も含め、下記連絡先に申込みください(当日参加も可)。

**交流会(懇親会)開催予定** 3月15日(木)夕刻に開催予定(詳細は当日、会費制)

### 連絡・問合せ先

**担当者** 多視点でつくる機能材料研究会事務局(村井 俊介 京都大学)

**T E L** 075-383-2422 **E-mail** e.henkan@gmail.com

## 第2回水資源の確保と保全に向けた材料・技術研究講演会

The 2<sup>nd</sup> Meeting on Water Purification Materials and Technologies for Acquiring and Maintaining Water Resources

開催日時 2018年3月15日(木) 10:00~12:00

**主催団体名** 水資源の確保と保全に向けた浄化材料と技術に関する研究体

**開催内容** 分野横断型研究体である「水資源の確保と保全に向けた浄化材料と技術に関する研究体」(代表:中島章(東工大))の活動の一環として、『水の基礎科学』に関連した講演会を開催します。

**招待講演1** 10:10~11:00 演題:「広帯域光散乱分光を用いた無機化合物のダイナミクス評価」(仮題)

講師:立命館大学・藤井康裕 先生

**招待講演2** 11:00~11:50 演題:「表界面選択的分光法を用いた物質・材料表面濡れに関わる物理・化学状態評価」(仮題)

講師:東京理科大学・由井宏治 先生

**参加対象者** 日本セラミックス協会会員(個人・教育・シニア)、学生会員、非会員

**参加費** 無料

**予定参加者数** 50名程度

**参加方法** 下記の連絡担当者へE-mailで事前にご連絡ください。当日参加も可能ですが、配付資料の準備のため、なるべく事前にお申し込み下さい。お申し込みの際に、交流会の参加の有無も合わせてお知らせ下さい。

**交流会(懇親会)開催予定** 3月15日(金)夕刻(会費制)

**その他・備考** 本サテライトでの研究発表の希望がございましたら、下記担当者にお問い合わせ下さい。数件でしたら承ることが可能です。

### 連絡・問合せ先

**担当者** 亀島 欣一(岡山大学 大学院環境生命科学研究科)

**T E L** 086-251-8907 **E-mail** ykameshi@cc.okayama-u.ac.jp

## 若手研究者が切り拓くハイブリッド材料

Advanced Hybrid Materials by Rising Stars

開催日時 2018年3月15日(木) 10:00~12:00

主催団体名 日本セラミックス協会ハイブリッド材料科学研究会

開催内容 機能性ハイブリッド材料研究分野において活躍著しい気鋭の若手研究者をお招きし、ハイブリッド材料科学研究会の講演会を開催いたします。奮ってご参加ください。

(1) 「層状ハイブリッドナノクラスターの合成とその応用」

徳留 靖明 先生 (大阪府立大学)

(2) 「精密重合技術を駆使した高分子ネットワークのデザインおよび機能化」

伊田 翔平 先生 (滋賀県立大学)

参加対象者 学生、社会人問わず歓迎いたします。

※本プログラムのほか、年會に参加される方は、年會の参加登録が必要です。

参加費 無料

予定参加者数 30名程度

参加方法 参加希望者は氏名・所属・連絡先・懇親會の参加有無を下記の連絡担当者へ E-mail で事前にご連絡ください。なお、当日参加も可能です。

交流会(懇親會)開催予定 3月15日(木)夕刻 費用は3000円程度

連絡・問合先

担当者 西 正之 (京都大学大学院工学研究科)

T E L 075-383-2413

E - m a i l west@collon1.kuic.kyoto-u.ac.jp

## 次世代排ガス処理のための機能材料研究会

Workshop on Functional Materials for Next Generation Exhaust Gas Treatment

開催日時 2018年3月15日(木) 9:30~11:50

主催団体名 次世代排ガス処理のための機能材料研究会

開催内容 CO<sub>2</sub>削減は官民の連携良く積極的にすすめられているが、NO<sub>x</sub> や N<sub>2</sub>O といったその他の排ガスに関してはその連携が十分とは言えない。規制が急速に厳格化されていくなか、今、産学官が連携した次世代排ガス処理技術開発が強く求められている。本研究会では排ガス処理に関する最先端の技術開発、材料開発について議論することを目的とし、以下の講演を予定している。

9:30-10:15 田中光太郎 (茨城大学) 「排ガス浄化装置の必要性 ~自動車排気を例に~」

10:15-10:40 木村辰雄 (産業技術総合研究所) 「脱硝触媒開発のための触媒材料の高表面積化技術の開発」

10:40-11:15 藤本憲次郎 (東京理科大学) 「ホーランド型複合酸化物による NO<sub>x</sub> 還元反応」

11:15-11:50 脇原徹 (東京大学) 「NEDO エネルギー・環境新技術先導プログラムにおける脱硝触媒開発」

参加対象者 どなたでもご参加いただけます。※本プログラムのほか、年會に参加される方は、年會の参加登録が必要です。

参加費 無料

予定参加者数 40名程度

参加方法 参加希望者は氏名・所属・連絡先を下記の連絡担当者へ E-mail で事前にご連絡ください。なお、当日参加も可能です。

交流会(懇親會)開催予定 なし

連絡・問合先

担当者 脇原徹 (東京大学 化学システム工学専攻)

T E L 03-5841-7368 (内線 27368)

E - m a i l wakihara@chemsys.t.u-tokyo.ac.jp

## 第 1 回量子ビーム実験・理論・データ科学によるセラミックス構造・物性研究会

The 1st Meeting on Comprehensive Integration of Theoretical, Experimental and Data Sciences for Ceramics

開催日時 2018 年 3 月 15 日(木) 9:00~12:00

主催団体名 量子ビーム実験・理論・データ科学によるセラミックス構造・物性研究会

概要 開催内容 第 1 回となる量子ビーム実験・理論・データ科学によるセラミックス構造・物性研究会では、データ科学のはしりとも言えるガラスの構造モデリングツールである逆モンテカルロ(RMC)をテーマにとりあげます。近年では結晶にも適用されている本手法について、その基礎となる非晶質回折、RMC のソフトと適用例、そして、それらを用いた研究成果について 5 名の先生方による講演会を企画しました。この講演会により、RMC がより普及し、セラミックス材料の構造・物性研究の更なる発展の一助となることを期待します。

### 【招待講演】

「Networks under pressure」(バース大学 Phillips S. Salmon 教授)

「RMC\_POT — a Reverse Monte Carlo software tool aiming at structural studies of molecular liquids」(ハンガリー科学院 László Pusztai 博士)

「RMCPProfile: Local structure of crystalline to amorphous materials」(オークリッジ国立研究所 Matthew G. Tucker 博士)

「Modification of phosphate network in binary phosphate glass」(京都大学 小野寺 陽平博士)

「Atomic-scale disproportionation in amorphous silicon monoxide」(東北大学 平田 秋彦准教授)

参加対象者 日本セラミックス協会会員、学生会員、非会員

参加費 無料

予定参加者数 30 名

申込方法 E-mail により、交流会参加の有無も含めて下記連絡先にお申込みください。(当日参加も可)

交流会(懇親会)開催予定 有(当日夕刻、要会費)

本講演会は、JST イノベーションハブ構築支援事業 MI<sup>2</sup>1 からの支援を受けて実施されます。

### 連絡・問合せ先

担当者: 小原真司(物質・材料研究機構) T E L: 0791-58-0223 E - m a i l: KOHARA.Shinji@nims.go.jp

# 置き引き・盗難注意



発表等で離席する際は  
ご注意ください。  
貴重品は携行しましょう。



公益社団法人日本セラミックス協会  
The Ceramic Society of Japan